

道徳教育の全体計画

宮城県岩ヶ崎高等学校

関係法令

日本国憲法, 教育基本法,
学校教育法

地域の実態, 社会の要 請, 生徒の実態, 保護者 や教職員の願い

【地域の実態】

昔ながらの家族形態が中
心の農村地帯である。

【生徒の実態】

素朴で思いやりのある生
徒が大半であり, 教師の
指導を素直に受け止め,
学校生活をより良くして
いこうという全体の雰囲気がある。

【社会の要請】

多様化し, 進歩し続ける
社会に対応できる柔軟で
芯のある人材を求める。

【保護者・教職員の願い】

ほとんどの保護者は大学
進学を希望している。基
礎学力を身につけ, 周囲
に影響されない自己を確
立してほしい。

学校の教育目標

建学の精神(尚志育英)に則り, 調和のある人間形成を目指し, 次の目標達成に努める。

心身の健康・清潔で健康な生活を心がけさせるとともに, 進んで心身を鍛え, 明るく清く, どんな困難に出会っても, くじけない意志力と体力を身につけるよう努める。

知性の伸長・青年の持つ無限の可能性を引きだし, 伸ばしていくことを心がけるとともに, 常に広く調和のとれた教養を身につけるよう努める。

人格の尊重・正しく自己を愛し, 他をも愛する愛情を持ち続け, お互い信頼しあえる誠実な頼もしい人となるように努める。

学年の重点目標

第1学年・高校生として規律を遵守し, 望ましい基本的生活習慣を確立させ, 自己管理能力を身に付けさせる。

第2学年・中堅学年としての自覚と責任を持たせ, 積極的・意欲的な生活態度を確立し望ましい生活習慣を身に付けさせる。

第3学年・最高学年としての自覚及び意識を早期に確立させ, 自己研鑽に励み, 岩ヶ崎高校の良き伝統を継承し, 学校の活性化に貢献するべく生活をさせる。

道徳教育の重点目標

人間としての在り方生き方を考え, 主体的な判断の下に行動し, 自立した人間として他者とともにより良く生きるための基盤となる道徳性を養うために, 次の目標達成に努める。
・道徳的諸価値の理解を深めさせる。
・自己を見つめ, 物事を広い視野から多面的多角的にとらえ, 人間としての生き方を考えさせる。

道徳教育の推進体制

【総務部】

朝の一声運動やあいさつ運動等を通し, 自発的な挨拶の習慣やしつかりした身だしなみの態度を育成する。豊かな心を育むため, 進んで読書をする態度を育成する。

【教務部】

校内研修を充実させることで質の高い授業を実現し, 生徒の主体的に学ぶ態度を育成する。

【進路指導部】

進路指導を通じて, より良い社会を作り上げようとする姿勢や, 将来社会人として生きていく上で必要な社会常識を身につけさせる。

【生徒指導・保健厚生部】

「心身の健康」「知性の伸長」「人格の尊重」を重んじ, 判断力・行動力および責任ある行動を取る態度を身につけさせる。また, 日々の諸活動の中で, 家庭や地域と連携しながら, 安心・安全な学校環境をつくる。

各教科・科目, 総合的な探究の時間, 特別活動等における指導方針及び内容

- 【国語科】 様々な事柄を学び, 理解するための基礎となる素養を深めるとともに, 古代から現在に至るまでの様々な人間の考え方に触れ, 社会の構造を学び, また自らのあり方を考えさせる。
- 【地歴・公民科】 変動する国際社会と社会現象に対して, 興味と関心を喚起し, 「地理B」・「政治経済」・「倫理」・「現代社会」においては社会認識と関係認識を育成し, 「世界史A」・「日本史B」において歴史的認識と関係認識の構築を図りつつ, 公正かつ確かな判断力を身に付ける。
- 【数学科】 基礎的基本的な計算力を付けさせると共に, 数学的思考力, 表現力を高め, 主体的・対話的で深い学びに取り組む態度を養う。
- 【理科】 自然の事物・現象の中に問題を見だし, それを探究する過程を通し, 科学の方法を修得させ, 創造的な能力を育てる。
- 【保健体育科】 保健体育の授業を通して健康, 基礎体力の重要性を認識させ, 自己の健康管理・安全に対する態度を身に付けさせる。
- 【芸術科】 個々の生徒の持つ長所を生かしながら, それぞれの芸術的感性と表現技能を高める。
- 【英語科】 「聞く・読む・書く・話す」の4つの技能をバランスよく育成し, 英語を理解し英語で表現しようとする態度を育てる。
- 【家庭科】 人間の健全な発達と生活の営みを総合的にとらえ, 家族・家庭の意義, 家族・家庭と社会とのかかわりについて理解させるとともに, 生活に必要な知識技術を習得させ, 男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。
- 【情報科】 コンピュータや情報通信ネットワークなどを活用して情報を選択・処理・発信できる基礎的な技能を身に付けさせる

特色ある教育活動や体験的活動との関連

総合的な探究の時間における「くりはら魅力化プロジェクト」を通じて, 地域の課題を認識させ, より良い社会を作り上げていこうとする態度を育成する。

環境の整備や生活全般における指導の方針

学校環境を整備し, 生徒にゴミの分別・少量化・省エネに関わらせながら, 身近な環境に意識を向けて行動することを促し, 広く公共心を育てる。

家庭・地域との連携

学校行事の健康強歩大会における豚汁支援・交通安全指導等のPTA活動を通じて, 感謝する気持ちを育てる。また, 「くりこま山車祭」への協力を通じて, 郷土を愛する心を涵養する。

異校種との連携

C-plan(高校生教育助手プログラム)や栗っこティーチャー(夏休み学習支援活動)等で小学校との連携を進めながら, 幅広い年齢層との交流の中で, 協調性・思いやりの心・社会性を育てる。